

# 我々は何者なのか？

## 考古学や遺伝学の進歩が 明らかにする驚きの物語

科学者はホモ・サピエンスをどのように定義し、我々の種は我々以外の絶滅した化石人類たちとどう違うのか？ 本書は最新の科学——特に遺伝学の進歩が、人類の進化に関する我々の理解をどのように変革しつつあるかを探る。著者のポール・ペティットは25年にわたる現場での経験をもとに、アフリカからユーラシア、オーストラレーシア、そしてアメリカ大陸へと拡散していった人類の心の在り方の起源を示す具体的な発掘物や遺物から得た豊富な情報も活用し、はるか遠い過去に生きていた人々の生活に迫る。



2024年  
11月  
刊行

# ホモ・サピエンス 再発見

科学が書き換えた人類の進化

ポール・ペティット [著] 篠田謙一 [監訳] 武井摩利 [訳]

A5 判変型 / 上製 / 376 ページ 定価 5,280 円 (本体 4,800 円) ⑩ ISBN978-4-422-43060-7 創元社



分子人類学者・  
国立科学博物館館長  
篠田謙一

科学は  
どこまで  
人類進化の  
謎に  
迫ったか。  
洞窟壁画、石器と  
狩猟、埋葬、  
そしてDNAなど  
多岐にわたる  
謎があつい！



目次

- 第1章 皮膚と骨
- 第2章 DNA研究の最前線
- 第3章 気候の変動と環境
- 第4章 拡散：アフリカからアジアへ
- 第5章 接触：ネアンデルタール人とデニソワ人
- 第6章 多様性
- 第7章 大災害：ホモ・サピエンス、ヨーロッパに到来す
- 第8章 ストレス、病気、近親交配
- 第9章 マンモスを中心とした生活
- 第10章 寒冷化
- 第11章 レフュジア：退避地
- 第12章 炉ばたと家庭
- 第13章 日の光が射さない世界：旧石器時代の洞窟絵画
- 第14章 ポータブル・アート：景観を持ち運ぶ
- 第15章 心の内側
- 第16章 死者の世界
- 第17章 アメリカ大陸への進出
- 第18章 家畜化の道：やがて人は自己家畜化へ

**著者** ポール・ペティット *Paul Pettitt*  
 グラム大学の旧石器考古学教授で、ヨーロッパ中・後期旧石器時代が専門。特に芸術の起源と死者に対する処置の発展に関心をもち、ヨーロッパ各地をはじめ世界各地でフィールドワークを行っている。

**監訳者** 篠田謙一(しのだ・けんいち)  
 分子人類学者、国立科学博物館館長。1955年生まれ。京都大学理学部卒業。博士(医学)。産業医科大学助手、佐賀医科大学助教授を経て、国立科学博物館人類研究部勤務。2021年より同館の館長を務める。著書に『人類の起源』(新書大賞2023第2位)、『江戸の骨は語る』(科学ジャーナリスト賞2019)、『DNAで語る日本人起源論』、『新版 日本人になった祖先たち』など多数。

**訳者** 武井摩利(たけい・まり)  
 翻訳家。東京大学教養学部教養学科卒業。訳書にN・スマート編『ビジュアル版世界宗教地図』(東洋書林)、B・レイヴァリ『船の歴史文化図鑑』(共訳、悠書館)、R・カプシチンスキ『黒檀』(共訳、河出書房新社)、T・グレイ『世界で一番美しい元素図鑑』シリーズ、J・ラーセン『微隕石探索図鑑』(創元社)など。



創元社

(本社) 大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL(06)6231-9010(代) FAX(06)6233-3111  
 (東京支店) 東京都千代田区神田神保町1-2田辺ビル TEL(03)6811-0662(代)

(キリトリ線)

創元社申込書 この注文書でお近くの書店さまへご注文ください。書店ご不便の場合は直送もいたします(詳細は創元社WEBサイトをご確認ください)。

# ホモ・サピエンス再発見

ISBN978-4-422-43060-7 C1045

定価 5,280円(本体4,800円)⑩

冊

取り扱い店名

ご住所

〒 \_\_\_\_\_

お名前

フリガナ \_\_\_\_\_

TEL

( ) \_\_\_\_\_

【創元社WEBサイト】  
<https://www.sogensha.co.jp/>

